

相模川で遊び学ぶ

相模川で遊び、相模川について学ぶコースです。キャンプ場ではアユ釣り、バーベキュー、川遊びを楽しみ、相模川ふれあい科学館や旧石器ハテナ館では、相模川の生態や遺跡について学びましょう。

移動手段 自家用車
 所要時間 約7時間
 施設使用料 約1,500円

相模原IC

〈車〉約15分

10:00 相模川で鮎釣り&バーベキュー
① 上大島キャンプ場

キャンプ場に隣接 〈車〉約10分

寄り道 **A** 相模川自然の村公園 **B** 井上醤油(株)

〈車〉約25分 〈車〉約25分 〈車〉約20分

14:00 相模川を学ぶ
② 相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら

〈車〉約20分

15:00 遺跡が学べる
③ 史跡田名向原遺跡 旧石器時代学習館 (旧石器ハテナ館)

〈車〉約20分

寄り道 **C** 史跡勝坂遺跡公園

〈車〉約20分 〈車〉約10分

16:00 迫力の大凧
④ 相模の大凧センター

〈車〉約5分

寄り道 **D** 豊国屋

〈車〉約10分 〈車〉約10分

圏央厚木IC

— 通常コース
 寄り道コース

🌳 公園・森林・キャンプ場
 🛍️ お土産・買い物スポット
 📍 その他、おすすめスポット



① 上大島キャンプ場

相模川沿いにあるキャンプ場です。きれいな川の水と松林の緑が印象的でした。



② 相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら

ふれあい科学館では相模川の生態が分かります。固有種などじっくり見ないと分からない魚や、珍しい魚が展示されていました。



④ 相模の大凧センター

迫力満点の大凧や、珍しい凧などが展示されていました。大凧を作る情景が小さなフィギュアで展示されているのがとても面白かったです！

※所要時間は目安です。時間帯・交通事情により変動します。
 ※記載の時刻は現地調査時に訪れた時刻です。周遊する際の参考としてください。
 ※施設使用料は大人1名分を参考に記載しています。



① 上大島キャンプ場

相模川河川敷の市営キャンプ場です。家族・友人同士で、対岸の山々の景色とバーベキュー・キャンプが楽しめます。

また、桜の名所としても有名で、花見をしながらのバーベキューも格別。鮎釣りのシーズンには絶好の釣り場としても知られています。

ご利用には、事前予約が必要です(12月～2月まで冬季休業)。

住所 相模原市緑区大島3657番地

電話 042-760-6066

備考 トイレあり、駐車場あり

費用:日帰り利用10名まで1,000円

② 相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら

相模川を学び、楽しみ、憩うための施設です。相模川の環境を40メートルの水槽で表現した「流れのアクアリウム」、川辺の小動物にふれあう「タッチング池」など実体験を通して学ぶことができます。(毎週月曜日定休、月曜日が祝祭日の場合は開館(振替休館なし)、夏休み・年末年始など長期休暇期間は毎日開館)

住所 相模原市中央区水郷田名1-5-1

電話 042-762-2110

備考 トイレあり、駐車場あり

費用:入館料 大人450円(65歳以上220円)

小人150円 幼児(就学前)と市内在住・

在学の小中学生は無料



③ 史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館 (旧石器ハテナ館)

全国的に数少ない旧石器時代をテーマにした展示施設。史跡田名向原遺跡は、発見された旧石器時代の住居状遺構から、人類の定住化の歴史を語る重要な遺跡として保存されており、平成11年1月28日に国の史跡指定を受けています。旧石器時代を中心に縄文時代から近世までの地域の遺跡を学べる展示室や、石器づくり・火起こしなどの体験教室（事前申込制）で、歴史や文化財について学ぶことができます。野外展示では旧石器時代の住居跡、縄文時代の竪（たて）穴住居、古墳時代の小円墳が復元されています。

住所 相模原市中央区田名塩田3-23-11

電話 042-777-6371

備考 トイレあり、駐車場あり、入館無料

④ 相模の大凧センター

展示室では、毎年相模の大凧まつりの映像を自由に視聴できます。大凧ができるまでの過程が分かりやすく説明されています。ギャラリーには世界や日本各地域の伝統的な凧が展示されています。

住所 相模原市南区新戸2268-1

電話 046-255-1311(れんげの里あらいそ)

備考 トイレあり、駐車場あり、見学無料



A 相模川自然の村公園

お花見やキャンプでにぎわう「相模川自然の村」の一角にある相模川自然の村公園は、相模川の豊かな自然を体いっぱい感じるができるところです。また、園内には、江戸時代中期の旧青柳寺庫裡(くり)を移築・復原した相模原市古民家園(神奈川県指定重要文化財)や開放感のある芝生広場などが整備されています。

住所 相模原市緑区大島3853-8

電話 042-769-8243 (相模原市公園課)

備考 トイレあり、駐車場あり

B 井上醤油(株)

伝統を守りつつこだわりの醤油を作っています。代々伝わる醤油作りを基本に、新しい技法や感覚を取り入れ、色、味、香と三拍子そろった最高級手造り醤油です。(年中無休(1月1日～4日を除く))

住所 相模原市緑区大島1048番地

電話 042-761-9101

備考 トイレあり、駐車場あり

C 史跡勝坂遺跡公園

縄文時代中期(約5,000年前)の大集落跡であり、国指定史跡です。大正15(1926)年、大山柏氏によって発見された土器は、装飾的な文様や顔面把手(がんめんとして)顔を表現した取っ手)などで注目を浴びました。この「勝坂式土器」は、縄文時代中期の基準となる代表的な土器です。

住所 相模原市南区磯部1780ほか

電話 042-769-8371 (相模原市文化財保護課)

備考 トイレあり、駐車場あり

D 津久井在来大豆の豊国屋

かながわブランドに認定されている地大豆「津久井在来大豆」を使った蒸(ふ)かし豆(相模原市観光土産品認定)、てんぺ、納豆をはじめ、いろいろなこだわりの自然食品を販売しています。(毎週木曜日定休)

住所 相模原市南区新戸3024

電話 046-251-0048

コース周辺には、他にもこのような見所があります!

周辺情報

1-1 相模原市古民家園

園内に移築・復原された「旧青柳寺庫裡(きゅうせいりゅうじくり)」は、江戸時代中期に建てられたと推定される建物です。神奈川県下の近世上層大形民家の間取りや構造を基本としながら、土間の妻側にも入口を設けた「妻入り(つまいり)」の形式となっていることなど庫裡独自の要素を持ち、神奈川県重要文化財に指定されています。(注)庫裡とは、もと寺の台所をいい、転じて、住職や家族の居間のこと。

住所 相模原市緑区大島3853-8(相模川自然の村公園内)

電話 042-760-1130

備考 トイレあり、駐車場あり

4-1 相模の大凧まつり

天保年間(1830年頃)から受け継がれてきた伝統行事の一つです。新戸の八間凧は、14.5メートル四方、950kgものサイズであり、毎年揚げているものとしては日本一の大きさを誇っています。5月の4日・5日に開催。

住所 相模川新磯地区河川敷

電話 046-251-0014 (新磯まちづくりセンター)

備考 トイレあり、駐車場あり(限りがありますので公共交通機関をご利用ください。)

4-2 座間市大凧まつり

座間市の伝統行事「大凧まつり」は、例年端午の節句の5月4日・5日に、相模川河川敷の相模川グラウンドで実施され、約10万人の観覧者でにぎわいます。

住所 相模川グラウンド

電話 046-252-8003 (座間市地域プロモーション課)

備考 公共交通機関をご利用ください。

4 -3 座間「ひまわりまつり」

座間市では、市の花であるひまわりが8月中旬に咲き誇ります。その規模は首都圏随一です。

住所 座間市内(座間・四ツ谷地区)

電話 046-205-6515(座間市観光協会)

備考 トイレあり

公共交通機関をご利用ください。

4 -4 かかしまつり(海老名市)

海老名の秋の風物詩です。田んぼの周りにユニークな“かかし”たちが並びます。毎年、作品を募集しています。

住所 海老名市中新田地区

電話 046-235-8539(海老名市農政課)

4 -5 海老名の銘菓

海老名市の名産品として開発された銘菓である「七重最中(ななえもなか)」、「えびなガレット」。和洋、お好みのスイーツをお試しください。

備考 店舗情報は〈海老名市ホームページ〉→〈海老名の名産品〉ページをご参照ください。